

2023 Profile of the Hokkaido  
Municipality Promotion Foundation

# 協会案内 2023



公益財団法人  
北海道市町村振興協会

Hokkaido Municipality Promotion Foundation

# はじめに



公益財団法人 北海道市町村振興協会  
理事長 棚野孝夫

北海道市町村振興協会は、昭和54年3月に「市町村振興宝くじ（通称：サマージャンポ宝くじ）」の発売収益金を、市町村振興事業や災害対策のために活用する財団法人として設立され、平成24年4月からは公益財団法人として活動しています。

この間、当協会は、「サマージャンポ宝くじ」の発売収益金を基金として積み立て、これを有効に運用し、道内市町村の振興のために、公共施設整備に対する貸付をはじめ、地域の課題に対応した調査研究や市町村職員等の研修の実施・支援、地域イベント等への助成などの各事業を積極的に推進するとともに、平成13年度に新設された「新市町村振興宝くじ（通称：ハロウィンジャンポ宝くじ）」の発売収益金全額を、公共事業のほか、地域における環境の保全や経済の活性化、少子・高齢化に対応する施策などのソフト事業にご活用いただくため、市町村へ交付しています。

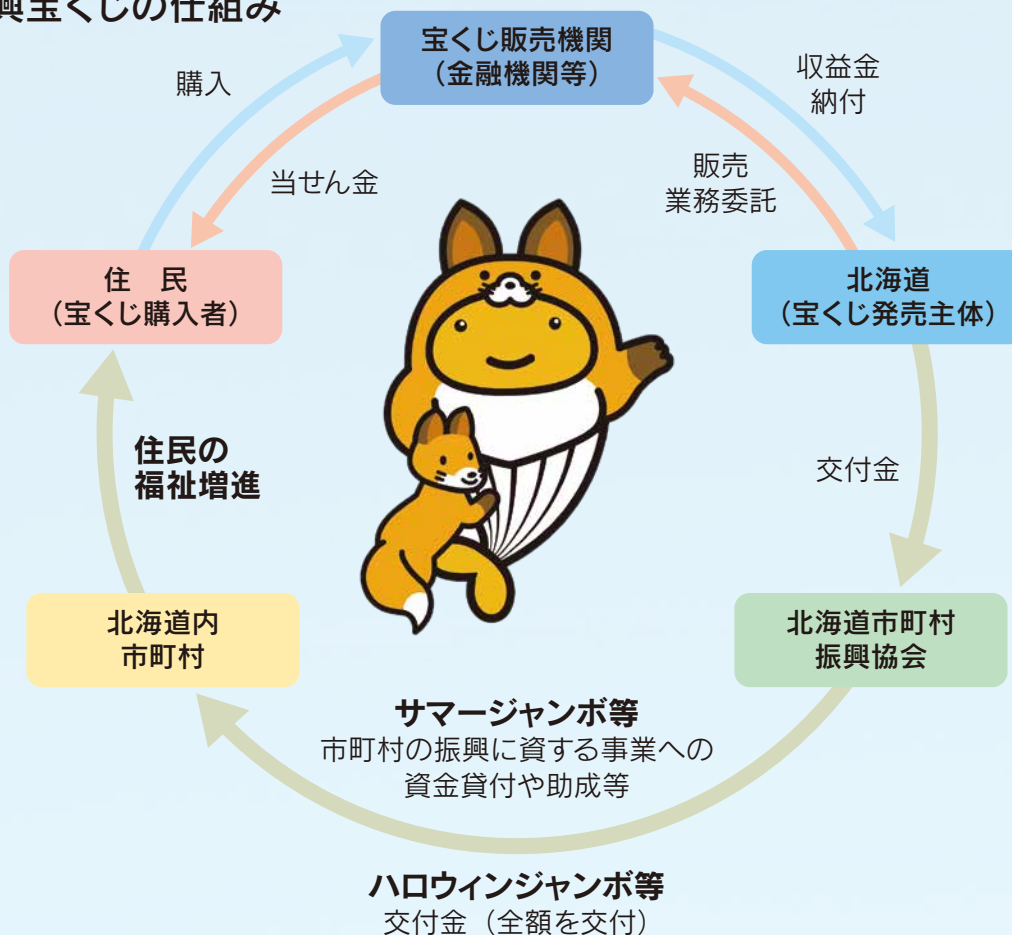
めまぐるしく変化を続ける昨今の社会経済情勢の中で、市町村は、限られた行財政資源のもとで高度・多様化する住民ニーズに的確に応え、活力ある地域社会を実現していくため、簡素で効率的・効果的な行財政運営を推進することが求められています。

当協会の令和5年度事業では、引き続き市町村振興宝くじの収益金を積み立てている「市町村振興宝くじ基金」の一部を取り崩して市町村交付金を交付することとしております。また、市町村に共通する政策課題の調査研究として「脱炭素社会実現のためのガイドブック」を発行するとともに、市町村職員の政策力形成のため、ゼミナール形式の研究会を実施するほか、市町村の振興・発展のために各種事業を展開するなど、市町村の各般の取組にお役に立てるよう努めてまいります。

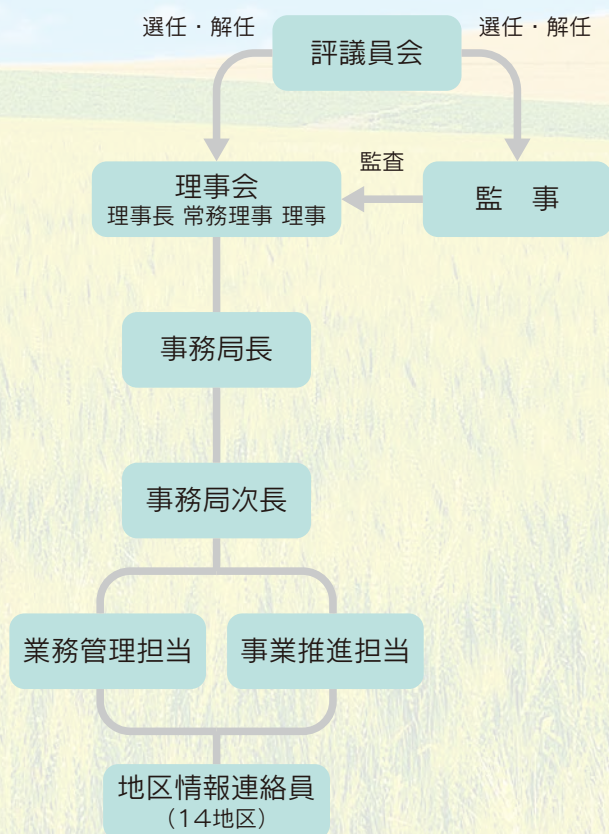
皆様方のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和5年（2023年）7月

## 市町村振興宝くじの仕組み



## 組織図



## 役員等名簿 令和5年7月1日現在

### 評議員

評議員	加藤 剛 士	名寄市長
評議員	前田 康 吉	滝川市長
評議員	工藤 昇	上/国町長
評議員	宮坂 尚市朗	厚真町長
評議員	林 美 枝子	日本医療大学総合福祉学部介護福祉マネジメント学科教授

### 役員

理事長	棚野 孝 夫	白糠町長
常務理事	柏木 文 彦	公益財団法人北海道市町村振興協会事務局長
理事	荻原 貢	芦別市長
理事	池田 達 雄	北斗市長
理事	宮本 憲 幸	初山別村長
理事	出井 浩 義	北海道市長会事務局長
理事	柴田 達 夫	北海道町村会常務理事
監事	三井 一 敏	北海道市町村備荒資金組合副組合長
監事	藤野 一 清	北海道町村議会議員公務災害補償等組合副組合長

協会資金の貸付と交付金の交付により、個性豊かな地域づくりを  
応援します

## 資金貸付事業 Loans

市町村が行う施設等整備事業（長期）及び災害対策事業（短期）のために、振興協会資金を貸付けします。

### 資金の長期・短期貸付

- 貸付予定枠  
長期貸付金 60億円  
短期貸付金 5億円
- 貸付対象事業  
長期貸付金 公共施設整備事業等  
短期貸付金 災害関連事業
- 貸付利率  
年3%未満  
(財政融資資金の貸付金利に応じて特例利率を設定)
- 貸付時期（長期貸付金）  
年2回（5月、3月）
- 償還方法  
長期貸付金 償還期限は15年以内若しくは20年以内  
(いずれも据置期間3年以上)  
半年賦元金均等償還（9月、3月）  
短期貸付金 貸付年度内一括償還
- その他（長期貸付金の貸付限度額）  
原則1団体（事業）5億円

### 令和4年度の主な事業紹介 Major Projects in FY 2022

(貸付総額：4,852,600,000円)

#### カムイスキーリンクス索道等整備事業（旭川市）

カムイスキーリンクスは、四季に応じたさまざまなアクティビティを体験することができる旭川市のスポーツ・観光の拠点です。特に冬はパウダースノーが降り積もる都市近郊型スキー場として、毎年国内外から多くのスキーヤーが訪れています。

令和3年度には、ゴンドラの山麓駅舎と山頂駅舎の外部改修工事を行い、屋根と外壁を耐用年数の長いガルバリウム鋼板に更新しました。

また、車椅子利用者や視覚弱者など、移動に困難を抱える人を含めた利用者の利便性の向上を図るため、駐車場を舗装し、障がい者専用駐車スペースを設けました。



#### 新庁舎整備事業（倶知安町）

倶知安町役場庁舎は昭和40年に建設し、老朽化や耐震性、バリアフリー化など様々な課題を抱えていました。

こうした中、平成29年に新庁舎建設を決定し、令和3年に「すべての人が利用しやすい庁舎」「防災拠点となる強い庁舎」「機能的で柔軟性のある庁舎」「人と環境にやさしい庁舎」の4つを基本方針とした新庁舎が完成しました。

3階には町民が集える場所として、羊蹄山やニセコ連峰を望むことができる展望テラスを設置しました。

また、「町民に何が必要か」の視点や地域の特徴を取り入れたところが評価され、「地域の特性を生かしながら町民への利便性を重視した役場庁舎」として、令和3年度北海道福祉まちづくり賞（公共的施設部門）を受賞しました。

## 都市公園整備事業（北広島市）

北海道ボールパークFビレッジに隣接する平和の灯公園は、平成8年度の市政施行を記念し整備した都市緑地です。

この平和の灯公園は、北広島市のシンボルとして平和の灯モニュメントが建設されており、恒久平和の実現を祈念して、北広島市と歴史的に関わりの深い広島市の広島平和記念公園「平和の灯（ともしび）」から分火された「平和の灯（ひ）」を灯し続けています。

Fビレッジ建設に伴う周辺の再整備の一環として、令和3年度に公園の改修工事を実施しました。



## 私立認定こども園整備事業（別海町）

別海町では、保育の受け入れ年齢を拡充するために、学校法人宝誠学園が運営する認定こども園別海くるみ幼稚園による、保育室等の増築工事に対して補助を行いました。

園舎内部は、木材を基調とした造りとなっており、園児が木の温かみを感じながら過ごすことができるようになっています。

本事業の実施により、保護者の保育ニーズへの対応が可能となり、仕事と子育てを両立するための子育て環境を整備することができ、園児にとっても安心して過ごせる保育環境を整えることができました。

# 市町村交付金事業 Municipal Grants

市町村が行う地域振興事業のために、市町村交付金を交付します。

### ● 新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンボ宝くじ）市町村交付金

北海道から当協会に交付されるハロウィンジャンボ宝くじ・ミニ、クイックワン9月発売回号分の収益金等の全額を、市町村交付金として札幌市を除く全道市町村に交付します。

### ● 市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）市町村交付金

北海道から交付されるサマージャンボ宝くじ・ミニ、クイックワン8月発売回号分の収益金等及び貸付償還元金を積み立てている基金の一部を取り崩し、札幌市を除く全道市町村に交付します。

### ● 交付金の使途

地方財政法（昭和23年法律第109号）第32条に規定する事業

## 令和4年度の主な事業紹介 Major Projects in FY 2022

新市町村振興宝くじ交付金：731,933,020円

市町村振興宝くじ交付金：515,500,000円 地域活動推進特別支援交付金：500,000,000円

## 高齢者生活福祉センター運営事業等に 活用しました（初山別村）

初山別村では地域の高齢化が進行する一方、高齢者の生活を支援する民間事業者は少ないのが現状です。こうした地域課題の解消を図るため、高齢者生活福祉センター運営事業を実施し、高齢者が安心して生活できるよう、委託事業により介護福祉サービスを提供しています。また、公共交通機関の空白地域において交通空白地有償運送事業を展開し、高齢者の移動手段の確保を実現しています。

今後もこれらの事業を継続することで、高齢者に寄り添った住民サービスの提供に取り組み、高齢化に伴う地域課題の解消を図っていきます。



地域の人づくりのため、各種研修会を開催するとともに、地域で開催される研修を支援します

## 研修事業 Training Seminars

地域づくりを担う人材育成と資質向上を図るため、各種の研修事業を実施します。

### ● 北海道市町村長交流セミナー

市町村長を対象に、当面する政策課題をテーマとして研修会を開催します。

### ● 市町村職員国内先進事例研修

道内外市町村の個性豊かな地域づくりの優良先進事例の手法やノウハウなどを学び、訪問先での職員や地域リーダーとの交流を図る研修を実施します。

### ● 市町村職員政策研修会

市町村職員等を対象に、地域の振興施策に関する知識を深め、その政策能力の一層の向上を図り、市町村の活性化に寄与することを目的とした研修会を実施します。

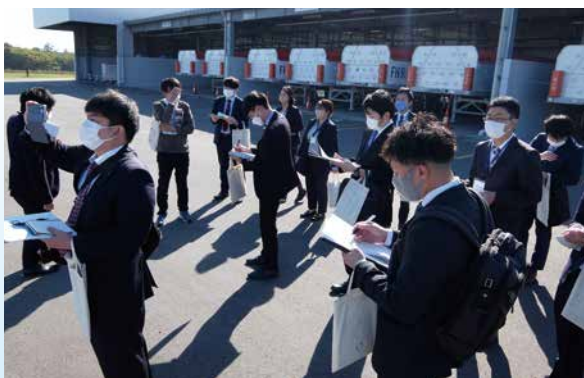
### ● 市町村職員研修センター運営費負担

市町村職員研修を実施する北海道市町村職員研修センターの運営に要する経費を負担します。

## 令和4年度の主な事業紹介 Major Projects in FY 2022

### 北海道市町村長交流セミナー

- 開催日：令和4年7月14日(木)
- 開催場所：札幌市(ホテルポールスター札幌)
- セミナーの内容
  - 講演Ⅰ「自治体行政に活かす脳科学」  
解剖学者 東京大学名誉教授 養老 孟司 氏
  - 講演Ⅱ「Withコロナ時代を生きる気候変動リスクと適応」  
NHKエンタープライズ  
エグゼクティブ・プロデューサー 堅達 京子 氏
- 参加者：約200名



### 市町村職員国内先進事例研修

- 実施期間：令和4年10月25日(火)～10月28日(金)
- 研修先及び研修テーマ
  - 福島県富岡町：東京電力廃炉資料館  
東日本大震災による福島原子力事故の事実と廃炉事業の現状
  - 福島県大熊町：中間貯蔵工事情報センター等  
除去土壌の安全な輸送、処理・貯蔵、再生利用の取組
  - 福島県双葉町：東日本大震災・原子力災害伝承館等  
東日本大震災からの復興の現状、課題と防災・減災の取組
  - 福島県浪江町：水素エネルギー研究フィールド等  
再生エネルギーを活用した水素製造拠点と浪江町における水素利活用の取組
- 参加者：市町村職員13名、事務局職員3名

## 市町村職員政策研修会

- 開催日：令和4年11月10日（木）
- 開催場所：札幌市（ホテルポールスター札幌）
- 研修内容  
講演Ⅰ「デジタル田園都市国家構想について」  
内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局参事官  
飯嶋 威夫 氏  
講演Ⅱ「北海道・脱炭素・地域でどう取り組むかー50年後のふるさとづくりをめざしてー」  
地方独立行政法人北海道立総合研究機構理事  
鈴木 大隆 氏
- 参加者：139名



## 研修支援事業 Training Support

市町村職員や地域リーダーの資質向上を図るため、各種の研修会を支援します。

### ●地域づくりセミナー開催支援事業

地域住民参加の下、グループ討議やワークショップ等を通じて地域づくりを推進するためのセミナーを開催する市町村を支援します。

### ●市町村職員まちづくり研修会開催支援事業

職員を対象に、グループ討議やワークショップ等を通じてまちづくりに関する知識の習得や政策形成能力の向上を図るための研修会を開催する市町村を支援します。

### ●その他研修支援事業

北海道都市問題会議支援事業、市長会研修支援事業、町村会研修支援事業、市議会議長会研修支援事業、町村議会議長会研修支援事業、町村等監査委員協議会研修支援事業

## 令和4年度の地域づくりセミナー開催支援事業紹介 Major Projects in FY 2022



### 利尻富士町みなとづくりセミナー（利尻富士町）

新たな港湾の将来ビジョンを描くため、昨年度に続き2回目となる「利尻富士町みなとづくりセミナー」を開催し、住民18名、町職員2名が参加しました。

今回のセミナーでは、釧路みなとオアシス協議会の金子ゆかり氏が取組活動の事例発表を、北日本港湾コンサルタントの石川浩希氏は「離島地方港湾の機能の利活用に関する共同研究」の取組について講演を行いました。その後、「観光地としてのみなとづくり」をテーマに意見交換を行いました。

## 令和4年度の市町村職員まちづくり研修会開催支援事業紹介 Major Projects in FY 2022

### 安平町職員地域経済分析研修会（安平町）

産業関連表や地域経済分析システム（RESAS）等を通じて、まちの強み・弱みを見える化し、データに基づいた企画・計画立案を行う力を身に付けることを目的に開催し、町職員16名が参加しました。

地域経済構造分析の基礎や事例を交えた講演のほか、実際にRESASを活用しながらまちの強みや弱みを分析するなど、職員の勤や経験によらない、客観的なデータに基づいたまちづくりを推進するためのグループ討議を行いました。



## 魅力ある地域づくりのための助成を行います

# 助成事業 Subsidies

市町村などが地域の活性化のために実施する各種事業に対して助成します。

また、広域消防航空応援経費に対する交付金や災害復旧対策の促進のための見舞金を交付します。

### ● いきいきふるさと推進事業助成金

「観光及び地場産業の振興」、「少子・高齢化等対策の推進」、「高度情報化の推進」等の課題に対応し、地域の活性化を図るために実施するイベントや研修等のソフト事業に対して助成します。

### ● 市町村アカデミー等研修受講助成金

市町村職員中央研修所等が実施する研修に職員を派遣した市町村等に対し、受講に要する経費の一部を助成します。

### ● 救急救命士追加講習受講経費助成金

救急救命士の追加講習に係る受講経費を負担した市町村等に対し、受講に要する経費の一部を助成します。

### ● (一財) 地域活性化センター会費助成金

(一財) 地域活性化センターの会員である道内市町村が納入する会費の一部を助成します。

### ● 先駆的調査・実証プロジェクト推進事業助成金

市町村が人口減少や高齢化など、地域の政策課題の解決方策について調査研究・実証実験を行うもので、他の地域のモデルになると認められる事業に助成します。

### ● 北海道鉄道活性化協議会負担金助成事業

北海道市長会及び北海道町村会が負担する「北海道鉄道活性化協議会負担金」に対して助成します。

### ● 広域消防航空応援交付金

北海道広域消防航空相互応援協定に基づく航空応援に要した経費について交付します。

### ● 災害見舞金

災害が発生した市町村に対し、その復旧対策の促進が図られるよう災害見舞金を交付します。

## 令和4年度のいきいきふるさと推進事業紹介 Major Projects in FY 2022

### 士別地域食と観光プロモーション事業 (士別市、和寒町、剣淵町、幌加内町)

士別市・和寒町・剣淵町・幌加内町の1市3町が連携し、それぞれの地域にある「食と観光」の資源をメインに、観光スポットやグルメを巡る周遊スタンプラリーを実施しました。

事業を通じて、飲食店や観光施設等の売り上げ向上と地域を訪れるリピーターを獲得することができ、北海道内外からの誘客促進とPRにつながり、地域経済の活性化に寄与することができました。



### あっさぶ生き生き魅力創出事業 (厚沢部町)

厚沢部町のスローガンである「素敵な過疎のまち厚沢部町」の実現に向けて、地場産業や貴重な地域資源を活用し、町外から人や資金を呼び込み、地域活性化につなげたいとの思いから、地場産品のPRイベント「あっさぶメーカーイン・レシピ・コンテスト」と、地域活性化イベント「あっさぶ・冬花火」を実施しました。

「あっさぶ・冬花火」は、閑散期となる2月に道の駅あっさぶで「冬でも人々が出会い賑わい町を元気に」をテーマに実施しています。今回は3年ぶりに冬のバーベキューを行い、町内外から約300名が来場し、大いに賑わいました。

雪の特設滑り台で元気に遊ぶ子どもたちやお酒とお肉を堪能し談笑する大人の姿もあり、住民同士の交流を深め、地域活性化につながりました。





## 地域公共交通利用促進事業（赤井川村）

赤井川村において、唯一の公共交通機関だった北海道中央バス赤井川線が令和4年3月末に廃止となり、4月から「むらバス」の運行を開始しました。

買い物ツアーや観光ツアーの実施、公共交通マップの作成により利用促進を図りました。また、住民ワークショップを開催し、公共交通について考え、意見交換を行いました。

「公共交通はみんなで創り、みんなで支える」といった意識の醸成を図ることができました。

## ハザードマップ作成事業（西興部村）

西興部村は災害が少ない地域ではあるものの、近年、全国各地で100年に一度、1000年に一度というような災害が頻発していることから、住民の防災意識の高揚と再認識を目的として、最新の情報を掲載したハザードマップを村内の全世帯及び全事業所に配布しました。

また、令和4年11月に防災セミナーを開催し、ハザードマップについて住民に説明を行い、防災意識の向上を図りました。



## 清水町開町120年記念 十勝しみず第九演奏会 ～どさんこジュニアオーケストラ特別公演～（清水町）

清水町の開町120年を記念して実施した「十勝しみず第九演奏会」は、昭和55年に町文化センターこけら落とし公演の一つとして第1回第九演奏会を開催して以来、第9回目の演奏会となりました。道内の小学生から大学生で構成する「どさんこジュニアオーケストラ」の演奏に合わせ、中学生から一般の住民で結団した「十勝しみず第九合唱団」が、「未来につなぐ喜びの歌」をテーマに「歓喜の歌」をドイツ語で歌い、「第九のまち しみず」の感動のステージを披露しました。

## 令和4年度の先駆的調査・実証プロジェクト推進事業紹介 Major Projects in FY 2022

### つべつウッドロスマルシェ実証事業（津別町）

津別町では、地域資源である木質バイオマスを活用し、森林資源、エネルギー、経済の持続的な地域内循環である「地域内エコシステム」の構築を目指しています。

川上から原料を安定的に確保する事業として「つべつウッドロスマルシェ」（木材の買取事業の名称で本町独自の取組）を計画し、本助成事業では、ウッドロスマルシェの模擬開催や収集した原料の活用調査、勉強会等を実施し、つべつウッドロスマルシェの円滑な運用に向けて取り組みました。



活力ある地域づくりのための政策課題等に関する調査研究や  
情報収集・資料提供を行います

## 調査研究事業 Investigative Research

市町村共通の政策課題等について調査研究し、その成果を市町村等に提供します。

### ● 地域づくり事例集作成事業

市町村振興に係る今後の事業展開に資するため、市町村に共通する特定のテーマに関する道内外における先進的な取組事例を調査し、事例集を発行します。

### ● 市町村職員政策力形成に関する調査研究事業

市町村職員の政策力形成のため、ゼミナール形式の調査研究を実施します。

### ● 「地域政策の新たな潮流を探る」作成事業

一般社団法人地域研究工房の小磯修二代表と道内外の識者が、将来の北海道の地域政策について対談し、その内容を対談集として編纂し、令和6年度に当協会設立45周年記念誌として発行するため、調査研究を実施します。

## 令和4年度の主な事業紹介 Major Project in FY 2022

### 地域づくり事例集2022

(令和5年2月発行、A4判1,400部)

道内の市町村等において今後の地域づくりの参考となる先進的な事例を集め、広く体系的に紹介することを目的として、「地域づくり事例集2022 活かせる若者の力～域学連携でまちに活気を～」をテーマに、大学や高専、高校などの教育機関と市町村が連携して行った19の事例を取り上げました。



### 市町村職員政策力形成に関する調査研究事業

市町村職員の政策力形成のため、一般社団法人地域研究工房の小磯修二代表が主任講師を務めるゼミナール形式の研究会を実施しました。

#### 第1回政策力形成ゼミナール

● 開催日：令和4年8月25日(木)～8月26日(金)

#### ● 研修内容

講義「北海道における地域政策の系譜」「北海道の地域経済構造の特性」  
「人口減少時代の地域政策」

● 参加者：市町村職員12名

#### 第2回政策力形成ゼミナール

● 開催日：令和4年10月20日(木)～10月21日(金)

#### ● 研修内容

講義Ⅰ「市町村における観光政策の課題と戦略」

國學院大學観光まちづくり学部教授 塩谷 英生 氏

講義Ⅱ「脱炭素時代の地域政策ーゼロカーボン北海道についてー」

北海道環境生活部ゼロカーボン推進監 今井 太志 氏

● 参加者：市町村職員12名



市町村の振興に必要な情報収集や資料の整備を図り、政策情報や行政関係資料・情報を提供します。

- **市町村ライブラリーの提供**  
行政関係図書・資料等を整備し、市町村職員等の情報収集の場として提供します。
- **市町村政策情報誌「プラクティス」の発行**  
市町村職員の政策形成能力の向上に資するため、道内外の先進事例など実践的な政策情報等を掲載した政策情報誌「プラクティス」を年3回発行します。
- **北海道市町村要覧の発行**  
道内全市町村の人口や産業構造、財政状況等基礎的なデータをまとめた「北海道市町村要覧」を発行します。

## 令和4年度の主な事業紹介 Major Projects in FY 2022

### 市町村政策情報誌「プラクティス」の発行 (年3回、A4判5,000部/回)



令和4年5月発行



令和4年9月発行



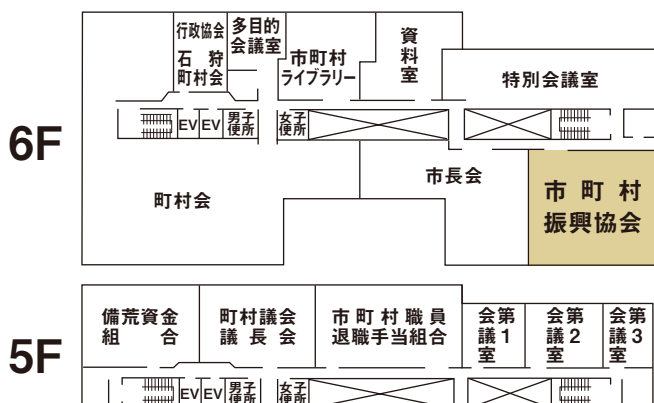
令和5年1月発行

### 北海道市町村要覧の発行 (令和4年9月発行、A4判1,500部)

道内市町村の人口や産業構造、財政状況等の基礎的なデータを取りまとめた「北海道市町村要覧2022」を発行しました。

## 北海道自治会館を管理運営しています

当協会が区分所有する北海道自治会館の一部（下図参照）を、北海道市長会、北海道町村会などの自治関係団体に対し無償貸与するとともに、会議室及び駐車場等を無償でこれらの団体の利活用に供しています。





# 令和5年度サマー&ハロウィンジャンボ宝くじ!

サマージャンボ、ハロウィンジャンボ宝くじ等の収益金は、都道府県ごとの市町村数、人口、販売額に応じて配分され、「市町村の明るく住みよいまちづくり」に使われます。北海道内の宝くじ売り場または宝くじ公式サイトでお買い求めください。



## サマー ジャンボ 宝くじ

市町村振興宝くじ

発売期間

7月

4日  
(火)

8月

4日  
(金)

## ハロウィン ジャンボ 宝くじ

新市町村振興宝くじ

発売期間

9月

20日  
(水)

10月

20日  
(金)

宝くじ  
公式サイト

すぐ買える 当たりがわかる クイックワン

Quick One  
クイックワン



宝くじ  
公式サイトで  
発売中!

### 公益財団法人 北海道市町村振興協会

〒060-0004

札幌市中央区北4条西6丁目 北海道自治会館6階

TEL(011)232-0281

FAX(011)221-5866

ホームページ

<https://www.do-shinko.or.jp/>



### Hokkaido Municipality Promotion Foundation

Hokkaido Jichi-kaikan Bldg. 6F

Kita 4-Jo Nishi 6-Chome, Chuo-ku, Sapporo

060-0004 JAPAN

Tel: +81-(0)11-232-0281 Fax: +81-(0)11-221-5866

Website: <https://www.do-shinko.or.jp>